

市民公募委員交流会の実施結果

1 交流会の目的

本市の審議会等に在籍する市民公募委員の情報交換や自主学習の場を設け、市民公募委員同士の交流やスキルアップを図るために開催する。

19年度は、京都市において作成を進めている「審議会等運営ガイドライン（仮称）」の作成（平成20年度を予定）に当たり、市民公募委員及び経験者の皆さんに、審議会等の運営に関する率直な御意見をお伺いする機会とする。

2 日 時

平成20年1月26日（土）13時～15時30分

3 会 場

景観・まちづくりセンター ワークショップルーム2

4 内 容

- 13:00 開会・本日の交流会の趣旨説明
～審議会等の運営に関する実態調査より～
- 13:15 参加者の自己紹介（お一人30秒ずつ）
- 13:35 グループワーク～テーマ「より開かれた審議会運営を進めるために」～
〔グループ毎に分かれて、審議会等の運営や市民公募委員制度のあり方等についてワークショップ形式の意見交換を行う。〕
- 14:55 グループ発表（発表時間：約3分間ずつ）
- 15:25 交流会のまとめ
- 15:30 閉会

5 参加者

20審議会，27名（うち一般参加4名）

6 主な意見

[事務局に今後改善して欲しいこと]

- * 役所ことば（専門用語）が多い。わかりやすい言葉にして欲しい。
- * 終了時間ばかり気にしていて、意見を言う時間がない。
- * 審議会活動のPR不足だと思う。ホームページなどをすぐに見られるようにして欲しい。
- * 審議会委員の人選が不透明だ。
- * 審議会等において運営上の格差がある。全体像がわかるようにして欲しい。
- * 公募委員制度を導入するだけでなく、活躍してもらうためのフォローが必要だ。（事前資料の配布、マイクを回すなど）

[審議会委員として守りたいルール]

- * 個人的な意見ばかりを言わずに、周りの意見も取り込んで発言して欲しい。
- * 審議の内容や議論のテーマをわかりやすく示して欲しい。
- * 自分の立場を明確にして発言して欲しい。
- * 特定の委員を誹謗してはならない。
- * 情報を得るための地域でのコミュニケーションの場づくりが必要だ。

[次の公募委員さんに伝えたいコツ]

- * 会議前に勉強しておくことが必要だ。
- * シンプルでわかりやすい言葉で発言するよう心がけて欲しい。
- * 威圧感に負けないで、必ず一言は発言して欲しい。
- * 市民の目線で発言して欲しい。
- * 色々な人の意見を聞いて委員活動をして欲しい。